



事業番号	11 08 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	建築物の安全・安心推進事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課
		実施期間	S47 ~	E-mail	kenchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン 2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化				

1 現状と課題

目指す姿	「住宅・建築物等の安全性の確保」～県民の生命・財産及び暮らしの保護～ ○住宅・建築物の耐震性確保(長野県耐震改修促進計画による促進) ※耐震化率(R7)目標 住宅:92% 多数の者が利用する建築物:95% ○土砂災害特別警戒区域等に存する災害危険住宅の安全確保 ○建築物に使用されている吹付アスベストによる健康被害の防止	
これまでの取組	○長野県耐震改修促進計画に基づく住宅・建築物等の耐震化の促進 ○耐震、災害危険住宅及びアスベスト除去に対し、補助事業により支援 ○関係課及び市町村等と協働した普及啓発を実施	
令和3年度の点検結果・現状分析	課 題	今後の方向性
	✓対象となる住宅が築39年を経過する中で、建替を視野に、耐震化の促進を図る必要がある ✓耐震性が不足する住宅所有者の高齢化が進み、改修工事費の負担増が顕著な問題となっている	◎耐震性が不足する住宅の建替補助のメニュー化を推進する ◎改修費用の所有者負担を軽減させるため、補助制度の拡充、工事低廉化の工法等の普及を図る

2 令和4年度事業内容

予算のポイント 主な取組 (予定)	【住宅・建築物の耐震化に関する取組】 ■建替補助の促進 建替補助メニューの創設を市町村に働きかけ、建替による耐震化の促進を図る (※R2年度 34市町村策定) ■住宅耐震化緊急促進アクションプログラムの推進 補助制度の拡充を受けるため、「住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」の策定を支援し、所有者の負担軽減を図る (※R2年度 46市町村策定) ■木造住宅耐震リフォーム達人塾の開催 耐震改修を行う事業者等に対し、安価で改修ができる工法の講習会を開催し、技術者の技術力向上を図る 【その他の取組】 ■克雷住宅普及の促進 ■災害復興住宅への支援 ■災害危険住宅の移転等の促進 ■吹付アスベスト除去等の促進	 神城新築地震  【達人塾の状況】
	<住宅・建築物耐震改修総合支援事業> 【DX】木造住宅耐震リフォーム達人塾をWEB方式とし、期限内ならいつでも視聴可能な状態とし、受講しやすい環境整備を図る <建築対策事業> 【DX】建築行政共用データベースを導入し、民間確認検査機関とのやり取りを電子化する 【DX】定期報告(昇降機)の受付業務を外部委託とし、電子データでの受理を可能とする	
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの果てに資する取組		

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	住宅の耐震化率	%	83.6	↗	85.5	↗	86.6	87.9
2	アクションプログラム策定数	市町村	34	↗	46	↗	50	54
3	応急危険度判定士登録数	人	1,610	↘	1,534	↗	1,570	1,610
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	予算額	前年度繰越	0	250
当初予算		190,389	209,216	要求 136,404 予算案 136,404
補正予算		△ 44,758		
合計(A)		145,631	209,466	要求 136,404 予算案 136,404
うち一般財源		128,870	181,916	要求 111,020 予算案 111,020
決算額(B)	125,161			
職員数(人)	26.15	25.95	25.85	

設定理由	成果指標	1 甚大な被害が予想される地震から、県民の生命や財産を守る観点から、住宅の耐震化率を指標に設定 2 住宅の耐震改修における所有者負担軽減の観点から、アクションプログラム策定市町村数を指標に設定 3 地震発生後の二次的災害の軽減の観点から、被災建築物応急危険度判定士の登録数を指標に設定
	目標値	1 長野県耐震改修促進計画(第三期)において、R7年度に達成すべき住宅の耐震化率の目標を92%と設定。その目標を達成するために必要な目標値を設定 2 77市町村の約7割を目標に設定 3 災害時における応急危険度判定の実施については、過去の実績等から2,000名が必要と判断。2,000名の登録に向け研修会等を実施してきたが、コロナ禍において講習会が実施できなかったため、登録数が減少してしまった。R4年度はR1年度末同等の登録者数に設定

予算要求からの主な変更点	要求どおり
--------------	-------

事業番号	11 08 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	建築物の安全・安心推進事業		部局	建設部	課・室	建築住宅課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	住宅・建築物耐震改修総合支援事業	91,661 千円	89,698 千円	要求 予算案	84,761 84,761 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	住宅・建築物耐震改修総合支援事業補助金	補助金	地震による建築物の倒壊から県民の生命・財産を保護し、災害時の被害の軽減を図るため、木造住宅等の耐震診断・改修を支援 【耐震診断(設計):910件 耐震改修(建替え含む):252件】		
2	被災建築物応急危険度判定整備事業費	直接	地震による被災建築物の危険性を判定する体制を整備し、余震等による二次災害を防止するため、判定士養成講習会等を開催 【判定士登録数:1,534名(R2) 養成講習会:県下10会場開催】		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	災害復興住宅建設等補助事業	70,740 千円	79,730 千円	要求 予算案	19,214 19,214 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	災害復興住宅建設事業補助金	補助金	令和元年東日本台風及び令和3年大雨により被災した住宅の復興(建設・購入、補修)支援のため、資金の借入れに対する利子相当額の一部を助成 【建設・購入:20件 補修:2件】		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
3	建築対策事業	27,988 千円	39,788 千円	要求 予算案	32,429 32,429 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	住宅・建築指導事業	直接	建築物等の安全確保のため、建築確認及び完了検査の的確な実施と建築指導員の活用により違反建築物の防止・指導を実施 【建築確認:1,674件(R2) 完了検査:1,772件(R2) 違反パト:2回×10所】		
2	克雪住宅普及促進事業	補助金	豪雪地域に暮らす住民の雪下ろしによる負担軽減や事故防止のため、市町村が行う住宅の克雪化への支援に対して費用を補助 【融雪型:6件 自然落雪型:9件 雪下ろし型:12件】		
3	アスベスト飛散防止対策事業補助金	補助金	アスベストの飛散による健康被害を防止するため、多数の者が利用する民間建築物のアスベストの除去に対して補助 【除去1件】		
4	宅地建物取引業指導事業費	補助金	宅地建物取引業務の適正な運営と取引の公正を確保し、その健全な発達を促進するため、免許・登録事務、指導等を実施 【宅建業者:1,615社 取引士:11,193人】(R2現在)		